



桃の節句 たくさんの雛人形が勢ぞろいしています



2月も半ばを過ぎると、ふじやま公園一帯はすっかり春めいてきます。梅林では紅白の梅が見ごろを迎え甘い梅の香りがあたり一面に漂うようになり、古民家の座敷では緋毛氈の上に多くのお雛様が飾られ、華やかな雰囲気醸し出されています。

ひな祭りは、江戸時代に女の子の健やかな成長を祈る節句の行事として庶民の間で広く行われるようになったといわれています。古民家にあるたくさんの雛人形の中には、江戸末期の嘉永年間(1848～1854)のものもあります。最近のお雛様は男雛が右側(向って左)に配置されていますが、このころのものは左に。これは、明治のころまでは伝統的に左が上とされ、その考えに基づき左に置かれていたようです。



展示期間中の3月2日(日)には、11時から呈茶会が開かれます。子供が大きくなり、人形は押し入れの中に眠ったままというご家庭もあるかと思いますが、桃の節句という節目の時期に、公園においてはお茶を飲みながら、“幼き頃の子どものことを懐かしむのもまた楽しからずや”ではないでしょうか。

お雛様は3月9日まで飾っています。どうぞ皆様でおでかけください。

呈茶会：3月2日11時～15時 先着30名、300円。



遠くは、富山県、福島県、三重県からも見えるという富士山。

ふじやま公園からは70キロくらいのものだから、ごく近くに見えてもまったく不思議はない。公園からの富士山展望ナンバーワンはなんといっても元大橋口入り口そばの梅林からだろう。空気が清冽で、視界が澄んでいる今が最高。これから5月の連休頃までわりと良く見えて、空気が暖くなると埃が舞いやすいのか見えにくくなる。黄砂やPM 2.5も展望の邪魔者。「今日は良く見えますね」公園散策の常連さんのうれしそうな声は、日本の空気の良さを喜んでいるようでもあった。



◆文化財防火デーの消防訓練が行われました



消防訓練が1月27日(月)午前、古民家ゾーンで行われました。主屋土間付近の火災報知機の発報で開始、ボランティアの通報、来園者の退避誘導、初期消火の後、消防署員による救出、放水が行われました。その後、放水銃の放水、主屋・長屋門のドレンチャー放水を行って消防訓練を締めくくりました。

署長からの日頃の予防活動が重要だとのお話がありました。最後に見学に来た子どもたちが本物の消防ヘルメットをかぶらせてもらって笑顔でした。

またこの訓練にあわせて、火災報知機や消防設備の点検整備を行いました。



◆里山ボランティア見てある記

ふじやま公園では150名余りのボランティアにより事業が行われています。

そのうち里山ボランティアは、炭焼きと竹林整備の活動グループ。近隣の小・中学生の職場体験や炭焼き体験などの場ともなり、地域に根づいた活動の一端を担っています。

取材した1月26日(日)は、孟宗竹の間伐作業とされていましたが、前日の雨の影響で炭焼き広場の杉の大木の伐採。この日の参加者は8名。樹木の伐採は、体力と計算が必要ですが、みたところ平均年齢はかなり高く、若い力が必要だとボランティアからも呟きの声も…。春・夏・秋・冬と季節を身近かに感じながらの作業は格別だそうです。

3月の炭焼き体験は、3月1日(土)窯詰め、2日(日)火入れ、8日(土)窯出しの作業を予定しています。炭焼きを体験して、一緒に里山整備の事業を盛り上げませんか。



古民家 Q&A 沓脱石



Q: 縁側と前庭の間にある大きな石は何ですか?

A: 沓脱石です。室内から庭への出入りをしやすくするために、縁側や式台などの前に置き、履物を脱いでそこに置いたり、踏み台にしたりする石です。これは建物と庭をつなぐ重要な役割を持っています。室内から庭を眺めるとき、最初に目にする石であり、その石を通して庭を見ることになるので、沓脱石は庭の前景とも言えます。これは庭に奥行きを与え、軒内を美的に構成しています。

かつては多くの住宅に据えられていましたが、住宅様式が変わり、近頃はあまり使われなくなりました。ウッドデッキなど木を使った構造物を用いる方法もありますが、石と違って朽ちてしまう懸念があります。

旧小岩井家では中の間と前庭の間及び上座敷・中座敷と日本庭園との間に据えられています。空間を引締め古民家に品格を与えています。



◆小学生が「縄ない」に挑戦

“午前中にも雨が降り出すでしょう”という予報にもかかわらずお日様が顔を出した1月のとある日、公田小学校の児童 50 人が縄ない体験のため公園を訪れました。

子どもたちは、公園のスタッフから、昔は、藁は縄やむしろ、草鞋づくりのほか、馬のエサにも利用していたと藁の大切さを学んだあと、「霧で湿らせて、木でたたいて繊維を柔らかくして、そのあとヨリを加えて」と、指導を受けながら初めての縄ない体験に挑戦。1時間ほどの間に器用な手さばきで2mもの縄を作り上げた子どももいました。

大きな歓声がする方を振り返ってみると、そこには自分が作った縄を自慢している先生の姿が。先生も初めての体験に童心に返っていたのかもしれません。



『いりり辺雑記』から(原文のまま)

- ・むかしのことがよくわかった。
- ・すごい(県外、10代、家族と)
- ・七草の展示がステキでした(30代、家族と)

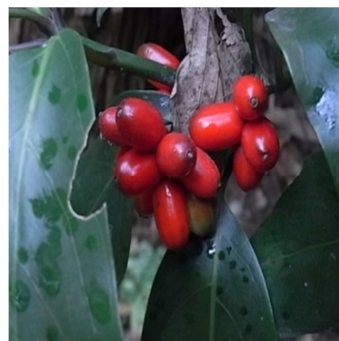


ふじやま公園の植物

アオキ ミスキ科

日本原産。樹高1~2mで木漏れ日の中を好み耐寒性に優れている。

雌雄異株とともに4月、赤紫の小さな花を咲かせる。雌株は冬に赤い実が楽しめる。中にはいびつで未熟(赤と青の混合色)な実の中にアオキミタマバエの幼虫がいることがあり、成虫になるまで実が落ちない工夫があるらしい。実はヒヨドリなどによって運ばれる。冬の長い欧州では人気の植物。公園では「富士塚へのみち」コースで見かける。赤い実を探し、観察してみても如何?



26年3月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解読勉強会	2日(日) 23日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(木)
里山部会 作業	8日(土) 9日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
	15日(土) 23日(日)		
工作棟部会 部会	12日(水)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
親子工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	8日(土)
ホームページ制作打合せ	2日(日)	印刷	13日(木)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
里山 そば打ち塾	3月22日(土) 10時～12時	初心者大歓迎、美味しいそばを打てます。自分で作った物の試食、持ち帰りが有ります	800円	3月12日(水) 抽選 6名
木版画教室 (全4回コース)	4月 5日(土) 13時～16時 5月 3日(土) 〃 6月 7日(土) 〃 7月 5日(土) 〃	気軽に楽しめる趣味を持ちませんか	300円	3月26日(水) 抽選 12名
植物画教室 (全4回コース)	4月 7日(月) 13時～16時 5月 5日(月) 〃 6月 2日(月) 〃 7月 7日(月) 〃	生涯楽しめる趣味を持ちませんか	無料	3月28日(金) 抽選 12名
初心者 茶道体験教室	4月19日(土) 13時～16時	古民家でおもてなしの心、茶道の体験をしてみませんか (持参品: 白いソックス)	500円	4月14日(月) 抽選10名

- (1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ
(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

．．．．お知らせ．．．．

★お花見会（予告）

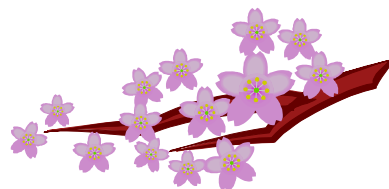
例年のように本郷ふじやま公園のお花見会を行います。本郷中学校吹奏楽部の出演など皆さんにお楽しみいただける内容を検討中です。詳細は3月号でお知らせします。

日 時：4月6日(日) 10時から

出し物：本郷中学校吹奏楽部出演 獅子舞、殺陣など

模擬店：ジャガバター、ポップコーン、綿菓子、甘酒など

子ども遊び：輪投げなど



★竹林整備(筍掘り)（予告）

本郷ふじやま公園里山の整備の一環として、筍掘りを行います。ご家族でお楽しみください。

日 時：4月20日(日) 10時から 12時

募集定員：25 家族(1 家族 4 名まで) 多数の場合は抽選を行います。急斜面の場所があるので未就学児の参加は御遠慮下さい。

詳細、募集方法は3月号で。

★ 1 月ふじやま公園来園者数 2,225 名 25 年度累計 18,309 名

- | | |
|-----------|--|
| ・開 館 時 間： | 9 時～17 時 |
| ・入 館 料： | 無 料 |
| ・休 館 日： | 3 月 5 日(水) 毎月第 1 水曜日 |
| ・クリーンアップ： | 3 月 4 日(火) 18 日(火) 10 時～11 時 一斉清掃 |

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593